



ピットフォール研究専門委員会からの挑戦状 Challenge from Pitfall Research Committee (PiRC)

ピットフォール研究専門委員会委員長
徳島大学病院 三好雅士

異常データの原因を考えることはまさに“謎解き”である。機器・試薬の信頼性が向上し、報告値が即座に診療に用いられる今だからこそ、ピットフォールの発見や原因検索、再発防止策の構築がより重要であり、その攻略が日常へ彩りを加えるのではないだろうか。

そこでピットフォール研究専門委員会からの新企画として、皆様自身で異常事例を検討し、時には仲間で知恵を出し合い、さまざまなアプローチを考えていただく「ピットフォール研究専門委員会からの挑戦状 Challenge from Pitfall Research Committee (PiRC)」を開始する。

記念すべき第1例目は、第64回の日本臨床化学会年次学術集会時に報告した症例であるが、ご参加いただいた皆様も、台風で参加を諦めた皆様も、改めてチャレンジしていただきたい。

今後、本企画は約2か月毎のニュースレター配信により進行する。1つの症例について、1回目のニュースレターでデータを提示、2回目に一部の解析結果を開示、3回目で回答と解説を示すといった流れで行う。我々が実際に経験した事例を基に情報を追加しながら定期的に発信していくので、ご施設の勉強会などにも利用していただければ幸いである。若手からベテランまでが知恵を出し合い討議することにより、ピットフォールに対する興味も沸き、得られた結果に対して疑問を持つことが癖になるだろう。それが結果的に、患者、医療関係者に恩恵をもたらすとともに、次世代の異常反応解析プロフェッショナルの育成に繋がるのではないだろうか。



さて、早速だが我々の挑戦状を受け取っていただこう。

患者は60代男性、1年前から直腸癌（高分化腺癌）と肺小細胞癌の重複癌で治療中である。手術適用はなく、化学療法を施行している。

WBC	6800	/ μ L
RBC	2.79*10 ⁶	/ μ L
Hb	8.4	g/dL
Ht	25.6	%
MCV	92	fL
MCH	30.1	pg
MCHC	32.8	g/dL

AST	51	U/L
ALT	11	U/L
ALP	130	U/L
LAP	53	U/L
LD	665	U/L
CK	71	U/L
ChE	60	U/L
TP	4.0	g/dL
ALB	1.7	g/dL
CRP	6.34	mg/dL

CEA	168.9	ng/mL
CA19-9	13.5	U/mL

事例提示) 文京学院大学保健医療技術学部臨床検査学科 濱田悦子

臨床像および関連項目との乖離所見の有無を提示し、乖離所見がある場合には推測される原因についても考えてもらいたい。また、実際に本事例に遭遇した際にどう対応するか。あなたがとる次の一手を示していただこう。いかがだろうか。

ピットフォール研究専門委員会とは

https://jscc-jp.gr.jp/?page_id=2911



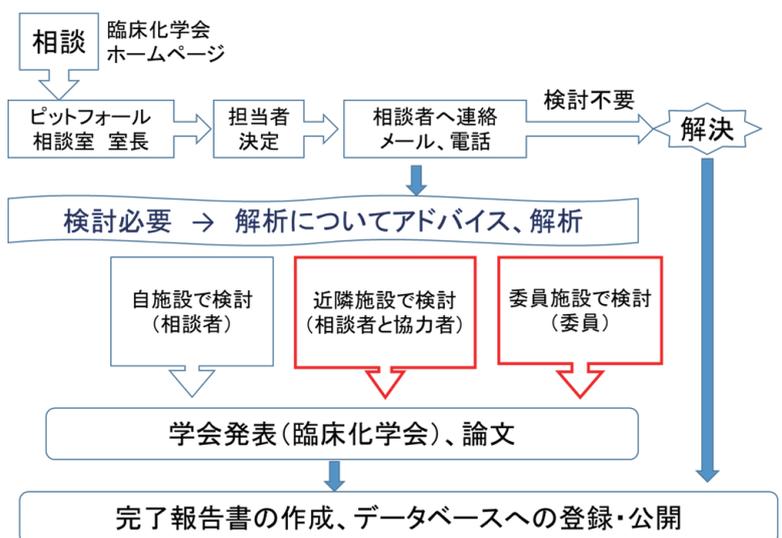
臨床化学・免疫血清検査は自動化・標準化が進んだ領域であるが、我々を誤った判断へと導く様々なピットフォールが存在する。日常検査においては、時としてこのようなピットフォール事例に遭遇することがあるが、その原因特定まで至らず、放置されているものも多いのではないだろうか。

このような背景から、ピットフォール事例の原因解明と情報共有を主たる目的として、2015年に藤田清貴(群馬パース大学)を委員長として「ピットフォール研究専門委員会」が下記の目的で新設され、その後、菅野光俊前委員長(福島県立医科大学)がさらに発展・浸透させた。

1. 過去に報告のあったピットフォール事例を広く集め共有すること。
2. ピットフォール事例を発見する、または見逃さないための方法を普及啓発すること。
3. さまざまな症例の発掘と原因の解明を行い、病態解析や機器・試薬改良に繋げること。
4. ピットフォール事例の解析を行い、学会発表、論文発表をし、人材育成を行うこと。

また、ピットフォール研究専門委員会では、各施設で遭遇した病態と乖離した異常データについて気軽に気軽に相談できるよう、2018年より日本臨床化学会の委員会ホームページに相談窓口を開設している。

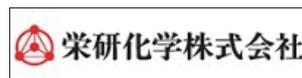
相談窓口寄せられた内容は委員会内で共有され、各委員が持つ専門知識や解析技術を基に意見が集約された後、相談者に推奨される解析方法や結果の解釈について返答される。解析相談では、自ら解析を行っていただけよう委員会内でフォローし、解析段階で困った際に相談できる体制を整えている。相談対応は臨床化学会の会員に限定せず、広く受け付けているため、是非、気軽にご活用いただきたい。



バナー広告掲載のお願い

本学会は、産官学が協調する学会で、学会員としては、医師、薬剤師、臨床検査技師などの医療従事者および臨床検査関連企業の社員が参加しています。そのため、情報の迅速な発信を目的としてホームページにバナー広告を掲載しております。より多くの企業の方にご利用いただきたくお検討をお願い致します。

バナー広告申込み：https://jscc-jp.gr.jp/?page_id=631



編集・発行：一般社団法人日本臨床化学会

104-0033 東京都中央区新川一丁目28番23号東京ダイヤビルディング5号館9階

(株)エム・シー・アイ内 日本臨床化学会事務局

TEL：03-6367-6225 FAX: 03-6367-6235 E-mail:jscc@mc-i.co.jp

<https://jscc-jp.gr.jp/>